

取扱説明書

ホワイトボードソフトウェア

WhiteBoard Software 5.2

Windows



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

もくじ

はじめに	3
コンピューターのシステム環境	3
必要なソフトウェア	3
タッチスクリーン液晶ディスプレイをご使用の場合	4
ソフトウェアの起動	4
ソフトウェアの終了	5
インタラクティブ機能搭載プロジェクターをご使用の場合	6
ソフトウェアの起動	6
ソフトウェアの終了	7
タッチ操作	8
ソフトウェアの動作モードと画面構成	12
ホワイトボードモード	12
デスクトップ操作モード	12
PowerPoint 連携モード	13
メニューについて	14
メインメニューの構成	14
ユーティリティメニューの構成	16
PowerPoint 連携メニューの構成	16
デスクトップメニューの構成	17
メインメニューの機能	18
ユーティリティメニューの機能	34
PowerPoint 連携メニューの機能	37
デスクトップメニューの機能	38
ページ一覧の機能	39
レコーダーの機能	40
キャプチャーの機能	41
背景切替の機能	42
キーボード操作	43
商標および登録商標について	44

はじめに

本ソフトウェアは、タッチスクリーン液晶ディスプレイ、インタラクティブ機能搭載プロジェクターを活用して、効果的かつ革新的なプレゼンテーションを実現します。

コンピューターのシステム環境

コンピューター	IBM® PC/AT 互換機
CPU	インテル® アーキテクチャ (Intel® Core™ 2 以上のプロセッサ)
オペレーティングシステム (OS)	Windows 11 Home 64bit, Windows 11 Pro 64bit Windows 10 Home 32/64bit, Windows 10 Pro 32/64bit
インターフェース	USB 2.0
メモリー	32bit 版 : 2GB 以上 64bit 版 : 4GB 以上
ハードディスク	250 MB 以上の空き容量 (Microsoft .NET Framework のインストールにさらに 1.5 GB 必要になる場合があります)
ディスプレイ	解像度 XGA (1024x768) ~ 4K (3840x2160) 色数 32 bit 以上 ※マルチモニターの場合は、プライマリーのみサポートします。

お知らせ

- 本書での操作説明には、Windows 10 の画面を使用しています。
お使いの機種によっては本書内のイラストや画面と異なる場合があります。
- 管理者権限を持たないユーザーの場合は、ログオフし管理者権限を持つユーザーでログインしなおしてください。

必要なソフトウェア

Microsoft .NET Framework	.NET Framework 4.7.2 以上
Microsoft Office PowerPoint	PowerPoint 2021 (64bit)

タッチスクリーン液晶ディスプレイをご使用の場合

本ソフトウェアは、タッチスクリーン液晶ディスプレイ（BF/BFE/BQ シリーズ）に対応しています。

※ 最新の対応モデル情報は、次の Web サイトの「ホワイトボードソフトウェア」より確認ください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays_software

ソフトウェアの起動

本ソフトウェアは、インストールの必要はありません。実行ファイルから直接起動することができます。

1. タッチスクリーン液晶ディスプレイにコンピューターを映像ケーブルで接続します。
2. タッチスクリーン液晶ディスプレイにコンピューターを USB ケーブルで接続します。
3. 「WhiteBoard.exe」 ファイルをダブルタップします。

お知らせ

・ソフトウェアを起動する前に、必ずコンピューターの画面解像度を、本ソフトウェアがサポートする範囲内に設定してください。

サポートしている画面の解像度は、「コンピューターのシステム環境」をご覧ください。

(→ 3 ページ)

1. デスクトップを右クリックし、[ディスプレイ設定] をクリックします。
2. 「ディスプレイの解像度」のドロップダウンリストをクリックし、解像度を選択します。
3. [適用] をクリックします。
4. 変更確認画面が表示されますので、[変更を維持する] をクリックします。

ソフトウェアの終了

- 1.メニューの「アプリケーション終了」ボタンをタップします。
- 2.タッチスクリーン液晶ディスプレイとコンピューターの接続を外します。

お知らせ

- 画面をタッチした時、エフェクトが気になる場合はコンピューター側の設定を変更することをお勧めします。

【Windows 11 をお使いのお客様】

1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンをクリックします。
2. [設定] → [アクセシビリティ] の順にクリックします。
3. [マウス ポインターとタッチ] を選択し、「タッチインジケーター」の「画面でタッチした箇所に円を表示する」を「オフ」にします。

【Windows 10 をお使いのお客様】

1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンをクリックします。
2. [設定] → [簡単操作] の順にクリックします。
3. [マウス ポインター] を選択し、「タッチのフィードバックを変更する」の「スクリーンタッチしたときに、タッチポイントの周辺に視覚的フィードバックを表示する」を「オフ」にします。

インタラクティブ機能搭載プロジェクターをご使用の場合

本ソフトウェアは、インタラクティブ機能搭載プロジェクター（以下プロジェクター）に対応しています。

※ 最新の対応モデル情報は、次の Web サイトの「ホワイトボードソフトウェア」より確認ください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector_application

ソフトウェアの起動

本ソフトウェアは、インストールの必要はありません。実行ファイルから直接起動することができます。

1. プロジェクターにコンピューターを映像ケーブルで接続します。
2. プロジェクターとコンピューターを USB ケーブルで接続します。
3. キャリブレーションを行います。
4. プロジェクター付属のペンの電源を入れます。
5. 「WhiteBoard.exe」 ファイルをダブルタップします。

お知らせ

- 本ソフトウェアを使用する前に SPDriver のインストールとキャリブレーションが必要です。詳細はプロジェクターのインタラクティブソフトウェア取扱説明書をご覧ください。
- ソフトウェアを起動する前に、必ずコンピューターの画面解像度を、本ソフトウェアがサポートする範囲内に設定してください。

サポートしている画面の解像度は、「コンピューターのシステム環境」をご覧ください。

(→ 3 ページ)

1. デスクトップを右クリックし、[ディスプレイ設定] をクリックします。
2. 「ディスプレイの解像度」のドロップダウンリストをクリックし、解像度を選択します。
3. [適用] をクリックします。
4. 変更確認画面が表示されますので、[変更を維持する] をクリックします。

ソフトウェアの終了

- 1.メニューの「アプリケーション終了」ボタンをタップします。
- 2.プロジェクター付属のペンの電源を切ります。
- 3.プロジェクターとコンピューターの接続を外します。

お知らせ

- プロジェクター付属のペンで画面をタッチした時、エフェクトが気になる場合はコンピューター側の設定を変更することをお勧めします。(→ 5 ページ)

タッチ操作

BF/BFE/BQ シリーズをご使用の場合またはプロジェクターをご使用の場合、本ソフトウェアをタッチ操作することができます。

本ソフトウェアには、ジェスチャーに対応したシングルモードと複数同時にタッチ操作が可能なマルチモードがあります。

■ シングルモード

タッチ操作による描画とジェスチャーに対応したモードに切り替えます。

お知らせ

- シングルモードでは、タッチ操作による描画は 1 つに制限されます。
- 複数のジェスチャー操作を同時に行うことはできません。
- 本ソフトウェアの起動直後はシングルモードに設定されます。
- プロジェクターでは付属のペン 2 本を使用してジェスチャー操作を行うことができます。この場合、メインメニューの「オブジェクト選択」ボタンをタップしてからジェスチャー操作を行ってください。（「オブジェクト選択」ボタンをタップしていない場合、不要な点が描画される可能性があります。）
- プロジェクターをご使用の場合、投写環境によってジェスチャー操作が行いづらい場合があります。

■ マルチモード





タッチ操作を複数同時に行うことができるモードに切り替えます。

お知らせ

- マルチモードはジェスチャーに対応していません。
- 描画色や太さなど機能の切り替えは、すべてのタッチ操作に同時に反映されます。

■ ジェスチャーの種類

シングルモードでは下記ジェスチャーにより描画や操作ができます。

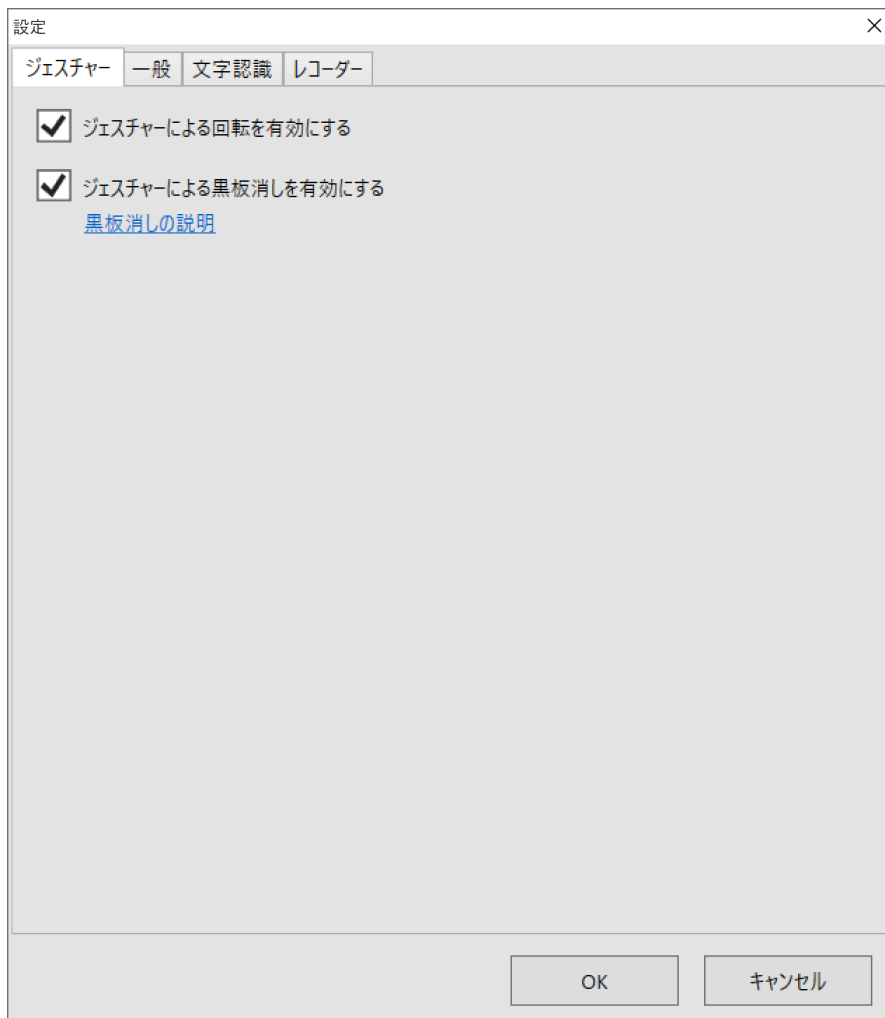
名称	操作イメージ	動作
2本指での選択		<ul style="list-style-type: none"> ■オブジェクトの選択 オブジェクト上で行った場合、オブジェクトを選択します。
2本指でのフリック またはドラッグ		<ul style="list-style-type: none"> ■ページ移動 ホワイトボードモードのスクリーン上またはPowerPoint 連携モードのスライド上での操作で、ページの送り戻しをします。 ■ページスクロール ホワイトボードモードでスクリーン拡大時にスクリーン上での操作でページをスクロールします。
ズームイン・ズームアウト		<ul style="list-style-type: none"> ■オブジェクトの縮小・拡大 選択されたオブジェクト上での操作でオブジェクトを縮小・拡大します。 ■スクリーンの縮小・拡大 ホワイトボードモードのスクリーン上での操作でスクリーン表示を縮小・拡大します。 <p>・直線は縮小・拡大できません。(→ 20 ページ)</p>
回転		<ul style="list-style-type: none"> ■オブジェクトの回転 選択されたオブジェクト上での操作でオブジェクトを回転します。 <p>・直線は回転できません。(→ 20 ページ)</p>

お知らせ

- 複数のジェスチャー操作を同時に行うことはできません。

■ ジェスチャー操作の設定


本ソフトウェアがサポートするタッチデバイスをご使用の場合、設定メニューにジェスチャー操作の設定を行うための「ジェスチャー」タブが表示されます。



ジェスチャーによる回転を有効にする	ジェスチャーによる回転を有効にしたい場合にはチェックを付けてください。
ジェスチャーによる黒板消しを有効にする	ジェスチャーによる黒板消しの機能を有効にしたい場合にはチェックを付けてください。

■ 黒板消し機能（BF/BFE/BQ シリーズ専用）

手のひらや、BF/BFE/BQ シリーズに付属の黒板消しなど、一定以上のサイズで画面をタッチすることで、消しゴムとしてタッチ操作することができます。メニュー選択で消しゴムに切り替えることなく描画内容を消すことができるため、広い範囲を消す場合などに便利です。

黒板消し機能		一定以上のサイズで画面をタッチしてください。
--------	---	------------------------

お知らせ

- 黒板消し機能をご利用にならない場合、設定メニューの「ジェスチャー」タブで機能を無効にすることが可能です。

ソフトウェアの動作モードと画面構成

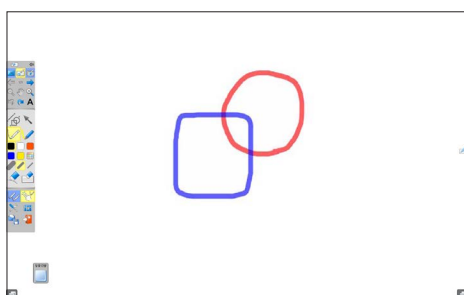
本ソフトウェアは、プレゼンテーションを効果的に行う為の3つの動作モードがあります。

お知らせ

- マルチモニター環境の場合は、プライマリーモニターのみサポートします。

ホワイトボードモード

ホワイトボードとしてスクリーンに描画や画像の挿入ができます。またページを 100 ページまで増やすことができ、内容を保存することも可能です。



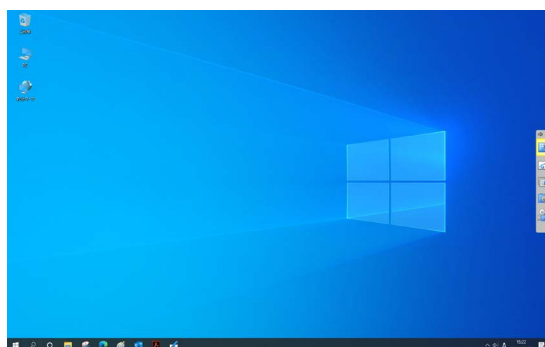
背景切替ボタンにて、ホワイトボードの背景色を切り替えることができます。詳しくは、背景切替の機能をご覧ください。(→ 42 ページ)

お知らせ

- スクリーン背景を透明にした場合、画面に表示されているデスクトップや他のソフトウェアを操作することはできません。

デスクトップ操作モード

画面に表示されているデスクトップや、他のソフトウェアを操作することができます。



お知らせ

- このモードでは、スクリーンに描画できません。

PowerPoint 連携モード

PowerPoint のスライドショーを行いながら、スライドに文字や絵を書くことができます。



• 操作方法

1. メニューの「モード切り替え」ボタンをタップし、PowerPoint 連携モードに入ります。
2. PowerPoint ファイルを選択します。
 - 既に PowerPoint が起動している場合は、起動中の PowerPoint ファイル一覧が表示されます。
3. メニューの「ページ切り替え」ボタンで、スライドのページ切り替えができます。
4. メニューの「マーカー」ボタンや「ハイライトマーカー」ボタンをタップし、スライド上に文字や図形を描画します。
5. メニューの「PowerPoint 連携終了」ボタンをタップ、PowerPoint 連携モードを終了します。
 - スライドに描画した文字や図形は、PowerPoint ファイルに保存できます。

お知らせ

- コンピューターに PowerPoint が、インストールされている必要があります。
- PowerPoint Viewer のみで PowerPoint 連携モードを使用する事はできません。
- 読み取り専用、または最終版プレゼンテーションに設定された PowerPoint は、PowerPoint 連携モードで使用することができますが、スライドに書いた文字や図形を保存する事はできません。
- スライドに設定された画面切り替え効果は無効となります。
- ページ数の多い PowerPoint ファイルを連携すると、「ドキュメントを開くのを中止するには ESC を押してください。」のメッセージが表示され、読み取り専用ファイルとして連携されることがあります。その場合、事前に PowerPoint ファイルを開いた状態で連携してください。

メニューについて

メニューには様々な機能ボタンがあり、マーカーの色や太さの変更や、印刷などを行うことができます。

メニューに含まれる機能は、動作モードにより異なります。

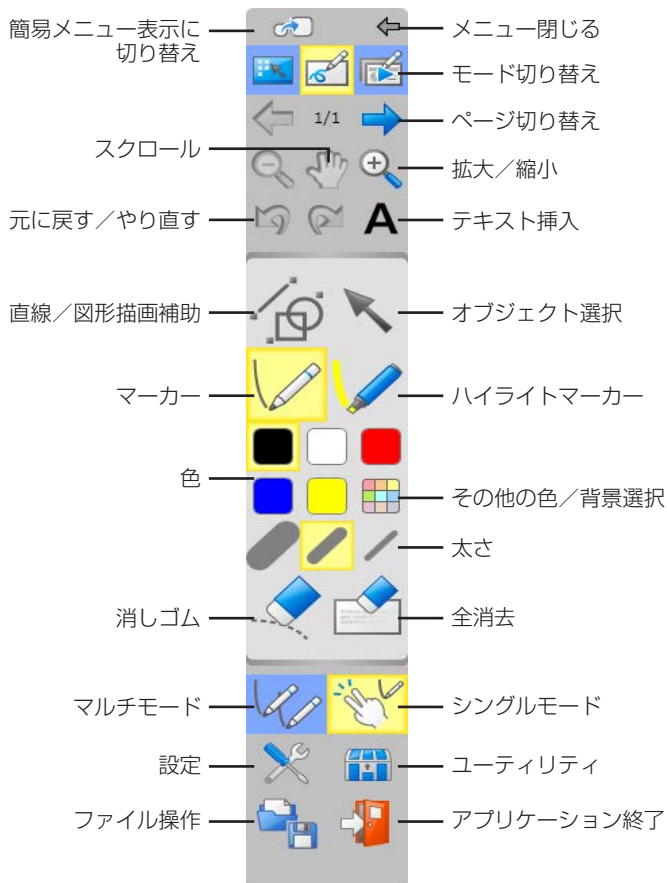
メインメニューの構成

ホワイトボードモード、PowerPoint 連携モードで表示されるメニューです。

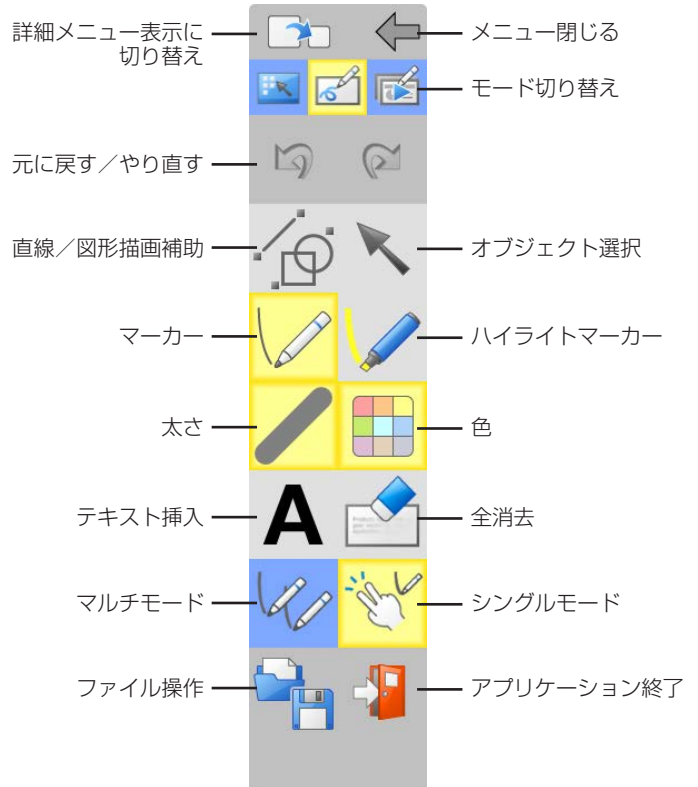
「メニューを切替」ボタンをタップすると、詳細メニュー、簡易メニューに切り替えます。

「メニュー閉じる」ボタンをタップすると、ホワイトボードモードではタブが表示され、PowerPoint 連携モードでは、PowerPoint 連携メニューが表示されます。メニューの表示位置（高さ）は、メニューの下端部をタッチして上下にドラッグして変更することができます。

【詳細メニュー】





【簡易メニュー】



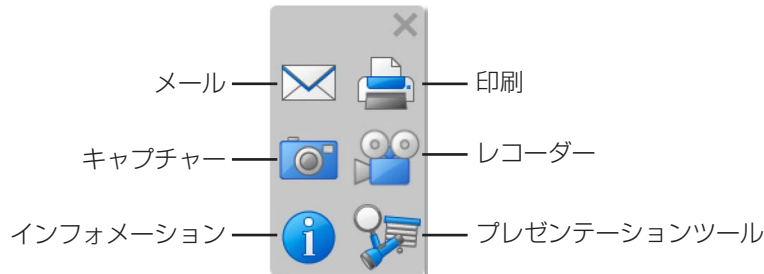
■ メニューを切り替え

詳細メニュー、簡易メニューに切り替えます。

ボタン	内容
	メニューを詳細メニューに切り替えます。
	メニューを簡易メニューに切り替えます。

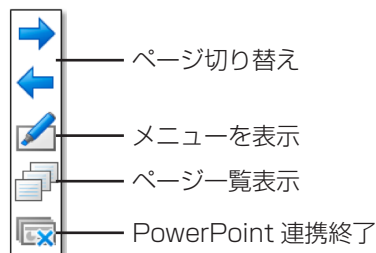
ユーティリティメニューの構成

メインメニューの「ユーティリティ」ボタンをタップすると表示されるメニューです。
ユーティリティメニューの操作方法は、「ユーティリティメニューの機能」をご覧ください。
(→ 34 ページ)



PowerPoint 連携メニューの構成

PowerPoint 連携モードで、メインメニューの「メニュー閉じる」ボタンをタップすると、表示されるタブ形式のメニューです。
タブをタップすると、メインメニューが表示されます。
メニューの表示位置（高さ）は、メニューの「メニューを表示」部をタッチして上下にドラッグして変更する事ができます。
PowerPoint 連携メニューの操作方法は、「PowerPoint 連携メニューの機能」をご覧ください。
(→ 37 ページ)



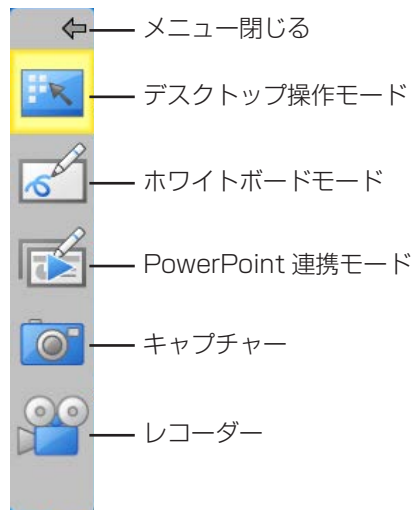
デスクトップメニューの構成

デスクトップ操作モードで表示されるメニューです。

メニューの表示位置（高さ）は、メニューの上下端部をタッチして上下にドラッグして変更する事ができます。

デスクトップメニューの操作方法は、「デスクトップメニューの機能」をご覧ください。

(→ 38 ページ)



メインメニューの機能

■ メニューを閉じる




メニューを閉じます。

■ メニューを表示

メニューを表示します。

■ モード切り替え

デスクトップ操作モード、ホワイトボードモード、PowerPoint 連携モードに切り替えます。

ボタン	モード
	デスクトップ操作モード
	ホワイトボードモード
	PowerPoint 連携モード

■ ページ切り替え

ページ更新を行います。

お知らせ

- ・ホワイトボードモードの場合は、スクリーンを次のページまたは前のページに切り替えます。
- ・PowerPoint 連携モードの場合は、次のまたは前のスライドを表示します。

■ 拡大／縮小

スクリーンを100%～300%まで、25%刻みで拡大縮小します。

お知らせ

- ・画面を拡大した場合、自動的にスムージング機能は有効になります。

■ スクロール

スクリーンが拡大されている場合、スクリーンを自由にスクロールします。

■ 元に戻す／やり直す

描画などの操作を元に戻したり、戻した操作をもう一度やり直します。

但し、ホワイトボードのページ追加、削除、複製については元に戻したり、やり直すことはできません。

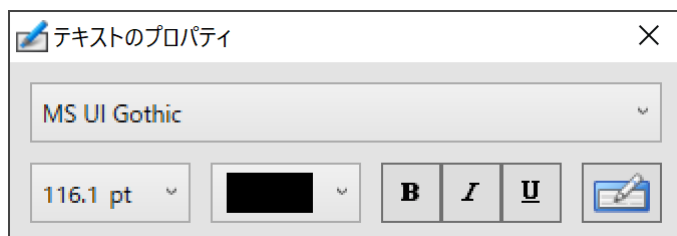
お知らせ


- 過去の操作50件まで、元に戻せます。

■ A テキストの挿入

テキストを挿入します。

画面をタップして挿入位置を決定すると「テキストのプロパティ」パネルが表示されます。このパネルからテキストの各種設定変更が可能です。







項目	内容
フォント名称	フォント種類を選択します。
フォントサイズ	フォントサイズを指定します。
フォント色	フォント色を選択します。
B	太字に設定／解除します。
<i>I</i>	斜体に設定／解除します。
<u>U</u>	下線付に設定／解除します。
	タブレット PC 入力パネルを表示します。

お知らせ

- ご使用のコンピューター環境とフォントの組み合わせによっては、文字が正常に表示されない場合があります。

■ 直線 / 図形描画補助

直線または図形を描画します。

ボタン	内容
	直線を描画します。 直線は 15 度ずつ傾きを変えた直線で描画されます。
	円を描画します。 水平・垂直への操作で直線が描画されます。
	四角形を描画します。 水平・垂直への操作で直線が描画されます。
	三角形を描画します。 水平・垂直への操作で直線が描画されます。

お知らせ

- 直線はジェスチャー操作による縮小・拡大および回転に対応していません。

■ オブジェクト選択

描画された文字や図形、画像を選択し、移動、拡大縮小、回転を行います。

選択はオブジェクト単位で行います。(オブジェクトとは、一筆書きされた線や、取り込まれた画像を指します。)

オブジェクトの選択

オブジェクトの選択方法は2種類あり、選択するとオブジェクトは点線で四角に囲まれます。

・オブジェクトをタッチする

オブジェクトをタッチすることで選択できます。

続けて別のオブジェクトをタッチすると、タッチしたオブジェクト以外の選択は解除されます。

・オブジェクトを囲む

オブジェクトが存在しない個所をタッチしドラッグすることで選択範囲を表す線が表示されます。

この線で完全に囲まれたオブジェクトが選択されます。

オブジェクトの移動

選択したオブジェクトの点線内をタッチしたまま、ドラッグすると移動できます。

オブジェクトの拡大縮小

選択したオブジェクトの点線上にある四角 () をドラッグすると、オブジェクトを拡大縮小できます。


オブジェクトの回転

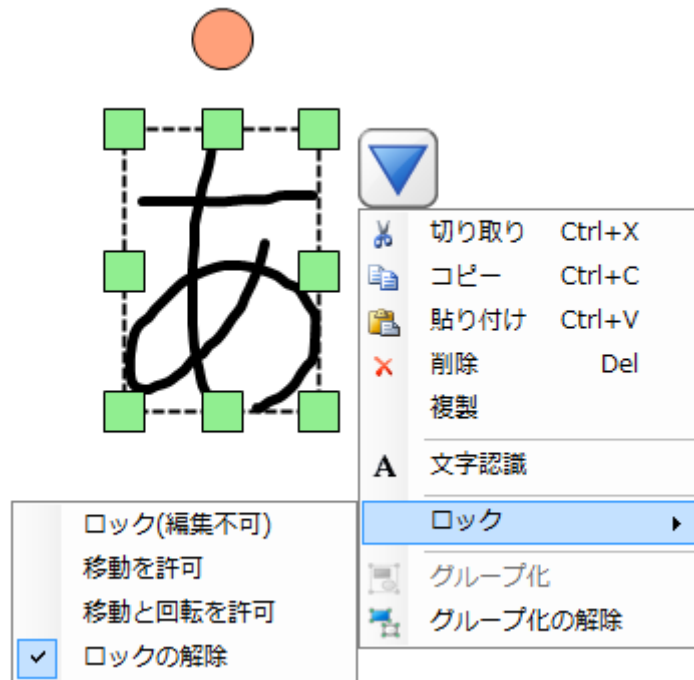
選択したオブジェクトの点線上にある丸 () をドラッグすると、オブジェクトを回転できます。



オブジェクトの選択解除

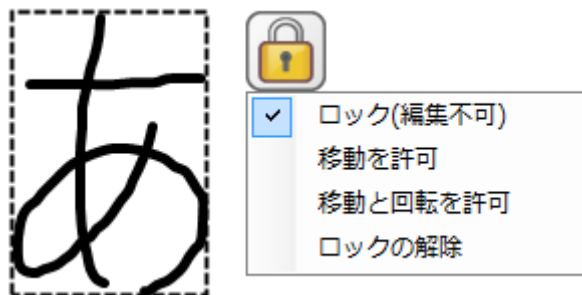
描画されていない個所をタッチすると、選択が解除されます。

オブジェクト操作メニュー

選択したオブジェクトの「オブジェクト操作メニュー」ボタン  をタップするとオブジェクト操作メニューが表示されます。



また選択したオブジェクトがロック状態の場合には「オブジェクト操作メニュー」ボタン  が  に変化します。タップすると下記のメニューが表示されます。

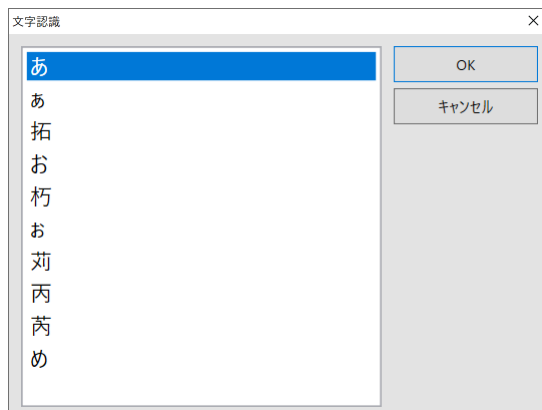


オブジェクト操作メニューからは下記の操作がご利用頂けます。

- **切り取り**
選択されているオブジェクトを切り取ります。
- **コピー**
選択されているオブジェクトをコピーします。
- **貼り付け**
以前に切り取り、またはコピーしたオブジェクトを貼り付けます。
- **削除**
選択されているオブジェクトを削除します。
- **複製**
選択されているオブジェクトを複製します。

・文字認識

選択した自由線オブジェクトをテキスト変換する候補リストが表示されます。任意のテキスト候補を選択し [OK] をタッチするとテキストに変換されます。



・テキストの編集

「テキストのプロパティ」パネルが表示され、選択したテキストオブジェクトの再編集が可能となります。

「テキストのプロパティ」パネルの操作方法は、「テキストの挿入」をご覧ください。
(→ 19 ページ)

・ロック

- ロック (編集不可)

選択されているオブジェクトのすべての編集操作が不可能となります。

- 移動のみ許可

選択されているオブジェクトの移動を除くすべての編集操作が不可能となります。

- 移動と回転を許可

選択されているオブジェクトの移動と回転を除くすべての編集操作が不可能となります。

- ロック解除

選択されているオブジェクトのすべての編集操作が可能となります。

・グループ化

同時に選択されている複数のオブジェクトを結合して1つのオブジェクトにできます。

・グループ化解除

選択したオブジェクトのグループ化が解除されます。

お知らせ

- 複数のオブジェクトを同時に選択した場合、拡大縮小、回転は行えません。
※ グループ化されたオブジェクトは1つのオブジェクトとして扱われるため、拡大縮小、回転が行えます。
- グループ化したオブジェクトは、一定のサイズ未満に縮小するとグループ化を解除することができません。解除する場合は、グループ化したオブジェクトのサイズを一定以上に拡大してください。なお、解除できない状態ではグループ化解除メニューが無効を示すグレー色になります。

- OS の制限等により文字認識がご利用できない場合には「文字認識」メニューは操作できなくなります。
- オブジェクト操作メニューの切り取り、コピー、削除、複製、ロックについては選択されているすべてのオブジェクトに対し作用します。

オブジェクト貼り付けメニュー

オブジェクトを選択していない状態で、オブジェクトのない場所をタップした場合にはオブジェクト貼り付けメニューが表示されます。

- **貼り付け**

以前に切り取り、またはコピーしたオブジェクトを貼り付けます。

お知らせ

- クリップボード上に貼り付け可能なデータがない場合には選択できません。
- オブジェクト貼り付けメニューの表示中にはキーボード操作を行うことはできません。

■ マーカー

文字や図形などの自由線を描画します。

お知らせ

- スムージング処理有効の場合、書き込む速度によって、描画された自由線が歪む場合があります。
※「設定」ダイアログでスムージング処理の有効／無効を選択することができます。

■ ハイライトマーカー

半透明色の自由線を描画します。

描画した文字や図形など、強調したい個所を塗ることに適しています。

お知らせ

- スムージング処理有効の場合、書き込む速度によって、描画された自由線が歪む場合があります。
※「設定」ダイアログでスムージング処理の有効／無効を選択することができます。

■ 色

描画色を切り替えます。

■ その他の色／背景選択

描画色、またはスクリーンの背景の色や種類を切り替えます。

お知らせ

- 背景が透明の場合、画面にデスクトップや他のソフトウェアが表示されますが操作はできません。
- デスクトップを操作する場合は、デスクトップ操作モードで行ってください。

■ 太さ

選択中のマーカー、ハイライトマーカー、消しゴムの太さを変更します。

■ 消しゴム

スクリーンに描画された文字や図形を削除します。

お知らせ

- 削除は、一筆書きされた線単位で行われます。
 - ※ 「設定」ダイアログで自由線の部分消去を有効／無効に選択することができます。
 - ※ 直線／図形描画補助で描画したオブジェクト、テキストは、部分消去できません。
- 部分消去または線などが多く描画されている場合、消しゴムの操作が遅くなる場合があります。
- 画像は消しゴムで削除する事ができません。オブジェクト操作メニューの削除を用いてください。

■ 全消去

スクリーンに描画された文字や図形をすべて削除します。

但し、ロック状態の文字、図形、画像、テキストは削除せず残ります。

■ マルチモード（タッチ操作専用）

タッチ操作を複数同時に行うことができるモードに切り替えます。

お知らせ

- マルチモードはジェスチャーに対応していません。
- 描画色や太さなど機能の切り替えは、すべてのタッチ操作に同時に反映されます。

■ シングルモード（タッチ操作専用）

タッチ操作による描画とジェスチャーに対応したモードに切り替えます。

お知らせ

- シングルモードでは、タッチ操作による描画は 1 つに制限されます。
- 複数のジェスチャー操作を同時に行うことはできません。
- 本ソフトウェアの起動直後はシングルモードに設定されます。
- プロジェクターでは付属のペン 2 本を使用してジェスチャー操作を行うことができます。この場合、メインメニューの「オブジェクト選択」ボタンをタップしてからジェスチャー操作を行ってください。（「オブジェクト選択」ボタンをタップしていない場合、不要な点が描画される可能性があります。）
- プロジェクターをご使用の場合、投写環境によってジェスチャー操作が行いづらい場合があります。


■ 設定

ソフトウェア全体に関連する設定を行います。

[OK] ボタンをタップすると設定した内容が反映されます。

• 一般タブ

本ソフトウェア全般に関わる一般的な設定を行います。



設定

ジェスチャー 一般 文字認識 レコーダー

メニューの表示位置

片側表示 両側表示

保存先の設定

C:\Users\Public\Documents フォルダ選択

起動時モード

ホワイトボードモード デスクトップ操作モード

ホワイトボード背景色のマスター設定 □

描画の設定

自由線を自動的にグループ化する

自由線のスムージング処理を有効にする

自由線の部分消去を有効にする

カラーユニバーサルデザインを有効にする [カラーユニバーサルデザインとは](#)

UI アニメーションを有効にする

ファイル/フォルダ選択時にタブレットPC入力パネルを表示する

最小化したメニューを自動的に隠す

プロジェクトの自動保存を行う

OK キャンセル

メニューの表示位置	片側表示：メニューを画面の左右どちらかに表示すると、もう片方のメニューを閉じます。 両側表示：メニューを画面の左右両方に表示できます。
保存先の設定	本ソフトウェアで生成されるファイルの保存先フォルダを指定できます。
起動時モード	ホワイトボードモード：本ソフトウェアをホワイトボードモードで起動します。 デスクトップ操作モード：本ソフトウェアをデスクトップ操作モードで起動します。
ホワイトボード背景色のマスター設定	プロジェクト開始時および新規ページ追加時のスクリーン背景の色を設定します。
描画の設定	自由線を自動的にグループ化する： 一定時間間隔内に書かれた複数の自由線を自動的にグループ化したい場合はチェックを付けてください。 自由線のスムージング処理を有効にする： 描画した自由線を滑らかにする場合は、チェックを付けてください。 自由線の部分消去を有効にする： 自由線を部分的に消去したい場合は、チェックを付けてください。
カラーユニバーサルデザインモードを有効にする	カラーユニバーサルデザインに対応した色パレットや描写ツールを使用する場合は、チェックを付けてください。カラーユニバーサルデザインを有効または無効に切り替えた時に、自動で再起動が行われます。
UI アニメーションを有効にする	メニューの表示切り替えを、アニメーションで行う場合は、チェックを付けてください。
ファイル / フォルダ選択時にタブレット PC 入力パネルを表示する	ファイルやフォルダ選択時にタブレット PC 入力パネルを表示する場合は、チェックを付けてください。
プロジェクトの自動保存を行う	回復用データとしてプロジェクトの自動保存を行う場合はチェックを付けてください。 本ソフトが異常終了した場合などの次回起動時に、自動保存したプロジェクトから作業内容を回復できることがあります。

お知らせ

- ・「ファイル / フォルダ選択時にタブレット PC 入力パネルを表示する」のチェックを外した場合でも、画面の端をタッチする事でタブレット PC 入力パネルが表示される場合があります。この場合、タブレット PC 入力パネルの「ツール」→「オプション」より「入力パネルタブを使用する」のチェックボックスを外す事で、表示しない事が可能です。
- ・プロジェクトの自動保存は「プロジェクト保存」の代わりに使用する機能ではないため、自動保存を行っている場合でも、作業を終了するときにプロジェクト保存を行う必要があります。
- ・タッチ操作のマルチモード時は「自由線を自動的にグループ化する」は無効となります。
- ・「カラーユニバーサルデザインとは」
色の見え方が一般と異なる（先天的な色弱、加齢による白内障、緑内障など）人にも情報がきちんと伝わるよう、色使いに配慮したデザインを言います。

• 文字認識タブ

テキストの挿入および文字認識時の初期設定を行います。

設定

ジェスチャー 一般 文字認識 レコーダー

言語の選択 日本語

フォント

名前 MS UI Gothic

サイズ 54 スタイル **B** *I* U

OK キャンセル

言語の選択		文字認識させる対象言語を指定します。
フォント	名前	テキストのフォントの種類を選択します。
	サイズ	テキストのフォントサイズを指定します。
	B	テキストを太字に設定／解除します。
	<i>I</i>	テキストを斜体に設定／解除します。
	<u>U</u>	テキストを下線付きに設定／解除します。

お知らせ

- オブジェクト操作メニューの文字認識時は、オブジェクトのサイズからフォントサイズが決定されます。
- OS の制限等により文字認識がご利用できない場合には「言語の選択」は操作できなくなります。

• レコーダータブ

レコーダーに関する設定を行います。

The image shows a '設定' (Settings) dialog box with a 'レコーダー' (Recorder) tab selected. The dialog contains several options and a section for saving location settings.

設定

ジェスチャー 一般 文字認識 レコーダー

録画開始時に操作パネルを最小化する

ファイル形式 AVI

録画モード 録画時間優先

音声を記録する

保存先の設定

C:\Users\Public\Documents

フォルダ選択

空き容量	69.4 GB
予測録画可能時間	165:41:36

OK キャンセル

録画開始時に操作パネルを最小化する	録画を開始した際に、レコーダーの操作パネルを自動的に最小化した場合にチェックを付けてください。
ファイル形式	保存する動画ファイルのファイル形式を指定します。AVI または WMV から選択してください。
録画モード	保存する動画の画質を指定します。画質優先、バランスまたは、録画時間優先から選択してください。
音声を記録する	保存する動画に音声を含めたい場合にはチェックを付けてください。
保存先の設定	動画が保存される場所を設定します。
フォルダ選択	動画の保存先を選択できます。
空き容量	保存先のディスク空き容量です。録画の目安にしてください。
予測録画可能時間	指定された設定で録画を行った場合の最大予想録画時間です。録画の目安にしてください。

お知らせ

- 音声を記録するためには、お使いのコンピューターにマイクなどの録音装置が必要になります。
- 保存先の設定にリムーバブルディスクなどローカルハードディスク以外を選択すると、十分な書き込み速度が得られず正常に録画できない場合があります。

■ ユーティリティ

ユーティリティメニューを表示します。(➔ 16 ページ)

■ ファイル操作

「ファイル操作」ボタンをタップすると、下記のサブメニューが表示されます。

サブメニューから任意の保存形式を選ぶことで、スクリーンに描画された文字や図形を、様々な形式で保存することができます。

サブメニュー項目	内容	ファイル形式	対象ページ
画像ファイル読み込み	画像を、ファイルから読み込みスクリーンに挿入します。	JPEG・PNG・BMP 形式	ホワイトボードモードの現在のページ
新規プロジェクト作成	新しいプロジェクトを作成します。	WBP・WBPX ファイル形式	ホワイトボードモードの全ページ
プロジェクト読み込み	ホワイトボードモードで描画されたデータを読み込みます。	WBP・WBPX ファイル形式	ホワイトボードモードの全ページ
プロジェクト上書き保存	ホワイトボードモードで描写されたデータを上書き保存します。	WBPX ファイル形式	ホワイトボードモードの全ページ
プロジェクト名前を付けて保存	ホワイトボードモードで描画されたデータを保存します。	WBPX ファイル形式	ホワイトボードモードの全ページ
PDF 保存 (全てのページ)	現在のモードで描画されたデータを PDF に変換して保存します。	PDF	選択されたモードで描画されたすべてのページ
PDF 保存 (現在のページ)	現在のモードで描画されたデータを PDF に変換して保存します。	PDF	選択されたモードの現在のページ
画像保存 (現在のページ)	現在のモードで描画されたデータを画像に変換して保存します。	JPEG・BMP 形式	選択されたモードの現在のページ

お知らせ

- 各種ファイルは、メインメニューの [設定] → [一般] で指定された保存先に保存されます。
- ページ毎に合計 50MB まで画像を挿入できます。

■ アプリケーション終了

本ソフトウェアを終了します。

ユーティリティメニューの機能

■ メール

既定の電子メールソフトを起動します。

現在の動作モードで描画されたすべてのページから PDF ファイルを作成し、電子メールソフトに添付します。

お知らせ

- 描画されていないページは、PDF に変換されません。
- PDF ファイルは、メインメニューの [設定] → [一般] で指定された保存先に生成されます。

■ 印刷

現在の動作モードで表示されているページを印刷します。

通常印刷	「通常使うプリンター」に設定されているプリンターに出力します。
詳細印刷	OS 標準の印刷ダイアログを利用して、手動で印刷を行います。

お知らせ

- 画面キャプチャーを許可しない他のソフトウェアが存在する場合、正常に画面をキャプチャーすることができないため、正常に印刷できない場合があります。
- 「詳細印刷」の場合、OS 標準の印刷ダイアログに表示されているページ数に関わらず、現在のページのみの印刷となります。
- プリンターや、プリンタードライバのバージョンによっては、プリンター情報が取得できず、正しく印刷できない場合があります。

■ キャプチャー

キャプチャーの操作パネルを表示します。表示されたパネルを操作することにより、キャプチャーを行うことができます。

キャプチャーの操作方法は、「キャプチャーの機能」をご覧ください。(➔ 41 ページ)

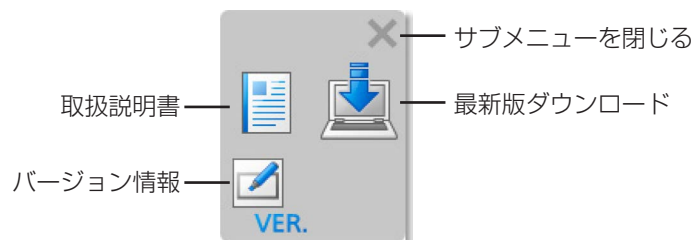
■ レコーダー

レコーダー操作パネルを表示します。レコーダー操作パネルを操作することにより、動画保存の操作を行うことができます。

レコーダーの操作方法は、「レコーダーの機能」をご覧ください。(➔ 40 ページ)

■ **i** インフォメーション

インフォメーションメニューを表示します。



取扱説明書

本ソフトウェアのサポートサイトを WEB ブラウザーに表示します。

最新版ダウンロード

本ソフトウェアのサポートサイトを WEB ブラウザーに表示します。

バージョン情報

本ソフトウェアのバージョン情報を表示します。







また、「最新版ダウンロード」ボタンを押すことで本ソフトウェアのサポートサイトを WEB ブラウザーに表示します。

■ プレゼンテーションツール

プレゼンテーション操作パネルを表示します。

プレゼンテーション操作パネルから各プレゼンテーションツールを起動することができます。



ボタン	内容
 拡大鏡	拡大鏡を表示します。 サイズの変更 : ウィンドウの端をドラッグ&ドロップ 表示位置の移動 : ウィンドウをドラッグ 拡大率の変更 : 左上の  を押し、拡大率を選択します
 スクリーンシェード	画面全体を覆うシェードを表示します。 サイズの変更 : 上下左右のハンドル付近をドラッグ&ドロップ 表示位置の移動 : シェード中央をドラッグ ・シェード上を始点とした描画およびオブジェクト操作はできません。 ・スポットライトが表示されている場合は、スポットライトを終了します。
 スポットライト	範囲選択で指定した領域（スポット）を除いた部分を覆うシェードを表示します。 サイズの変更 : スポットの端をドラッグ&ドロップ 表示位置の移動 : シェード部分をドラッグ ・シェード上を始点とした描画およびオブジェクトの操作はできません。 ・スクリーンシェードが表示されている場合は、スクリーンシェードを終了します。
 フェードアウト マーカー	描画内容が一定時間経過後にフェードアウトするフェードアウトマーカーに切り替わります。 ・解除する場合は、他の描画ツールを選択します。 ・消しゴムでの消去、オブジェクト選択、プロジェクト保存は行えません。 ・デスクトップ操作モード時はご利用できません。
 フェードアウト ハイライトマーカー	描画内容が一定時間経過後にフェードアウトするフェードアウトハイライトマーカーに切り替わります。 ・解除する場合は、他の描画ツールを選択します。 ・消しゴムでの消去、オブジェクト選択、プロジェクト保存は行えません。 ・デスクトップ操作モード時はご利用できません。

お知らせ

- ・スクリーンシェードおよびスポットライトは本ソフトウェア自身のメニューも覆います。メニュー操作を行う場合は、メニューが見えるようにシェードの位置を調整してください。

PowerPoint 連携メニューの機能

■ ページ切り替え

次のまたは前のスライドを表示します。

■ 先頭へ戻る

先頭のスライドに戻ります。

■ ページ一覧

画面下部にページ一覧をサムネイル表示します。

表示された各ページにタッチすると該当のページに表示が切り替わります。

ページ一覧の操作方法は、「ページ一覧の機能」をご覧ください。(→ 39 ページ)

■ PowerPoint 連携終了

PowerPoint 連携モードを終了します。

■ レコーダー (録画中)

レコーダーで録画中のみ表示されます。ボタンを押す事により録画を一時停止し、レコーダー操作パネルを開きます。

レコーダーの操作方法は、「レコーダーの機能」をご覧ください。(→ 40 ページ)

お知らせ

- PowerPoint 連携モードを終了すると、描画した文字や図形を、PowerPoint ファイルに保存するか確認する為のダイアログが表示されます。
- PowerPoint ファイルに上書き保存を行わない場合は、メインメニューの [設定] → [一般] で指定された保存先に、元ファイル名に連番をつけたファイル名で保存されます。




デスクトップメニューの機能

■ メニューを閉じる

メニューを閉じます。

■ モード切り替え

デスクトップ操作モード、ホワイトボードモード、PowerPoint 連携モードに切り替えます。

ボタン	モード
	デスクトップ操作モード
	ホワイトボードモード
	PowerPoint 連携モード

■ キャプチャー

キャプチャー操作パネルを表示します。表示されたパネルを操作することにより、キャプチャーを行うことができます。

キャプチャーの操作方法は、「キャプチャーの機能」をご覧ください。(→ 41 ページ)

■ レコーダー

レコーダー操作パネルを表示します。レコーダー操作パネルを操作することにより、動画保存の操作を行うことができます。

レコーダーの操作方法は、「レコーダーの機能」をご覧ください。(→ 40 ページ)

■ レコーダー (録画中)

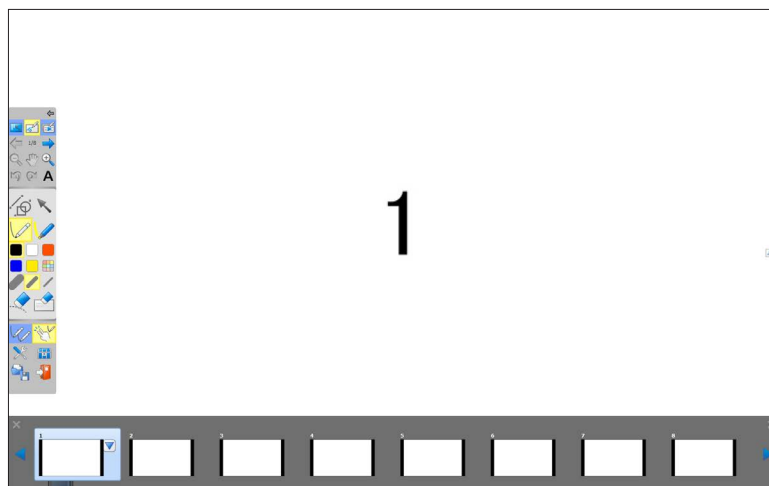
レコーダーで録画中のみ表示されます。録画を一時停止して、レコーダー操作パネルを開きます。


レコーダーの操作方法は、「レコーダーの機能」をご覧ください。(→ 40 ページ)

ページ一覧の機能

ページ一覧ボタン

画面下部にページ一覧をサムネイル表示します。



表示された各ページにタッチすると該当のページに表示が切り替わります。
ホワイトボードモードではページ一覧上の選択中のページに「ページ操作メニュー表示」ボタン  が表示されます。

項目	内容
ページの削除	選択されたページを削除します。
ページの複製	選択されたページを複製し、該当するページの次へ挿入します。
新規ページの追加	選択されたページの次に新規ページを挿入します。


タッチしたページはドラッグ&ドロップする事によってページ順を変更することができます。
ページ一覧に表示しきれていないページはページ一覧の左右にある三角矢印をタップすることにより、表示させることができます。また、三角をタップし続ける事により、連続してページを送り、戻すことができます。

お知らせ

- 複数のタッチ操作で同時にページ一覧を操作することはできません。
- ジェスチャーでページ一覧を操作することはできません。

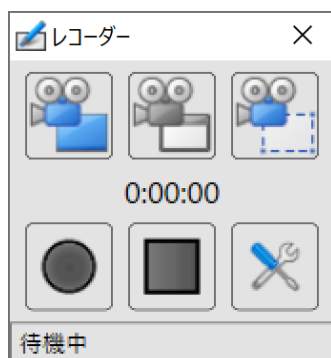
レコーダーボタン








レコーダー操作パネルを表示します。

録画中のレコーダーボタンは  に変わり、ボタンを押すと録画が一時停止し、レコーダー操作パネルを開きます。

レコーダーの機能

レコーダー操作パネルで選択した画面領域を動画として録画／保存します。



ボタン	内容
	画面全体の録画を開始します。
	ウィンドウのある領域の録画を開始します。 録画したいウィンドウを指定すると録画が開始されます。 録画開始後にウィンドウを移動しても、指定した領域が録画され続けます。
	範囲選択で指定した領域内の録画を開始します。 録画したい領域を指定してください。ドラッグを解除すると録画が開始されます。
0 : 0 0 : 0 0	録画が開始されてからの経過時間を表示します。
	録画を一時停止します。 (操作パネルの最小化機能が無効の場合に録画中のみ表示されます。)
	録画を再開します。
	録画を停止して保存します。
	設定を行います。




お知らせ

- 録画開始時に操作パネルを最小化する機能をご利用にならない場合、設定メニューの「レコーダー」タブで機能を無効にすることが可能です。
- 録画中にレコーダー操作パネルを最小化しても、録画は中断せず続行します。なお、最小化されたレコーダー操作パネルを再表示するにはレコーダーボタンを押してください。

キャプチャーの機能

キャプチャー操作パネルから画面を画像としてホワイトボードのページやファイルに保存することができます。



ボタン	内容
	画面全体をキャプチャーします。
	選択したウィンドウをキャプチャーします。
	指定した領域をキャプチャーします。
保存先	キャプチャーした画像の保存先を以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none">・新しいページ ホワイトボードモードに新規ページを挿入し、キャプチャーされた画像を貼り付けます。・現在のページ ホワイトボードモードで選択されているページにキャプチャーされた画像を貼り付けます。・クリップボード キャプチャーされた画像をクリップボードへ格納します。・ファイル保存 (JPEG) キャプチャーした画像を JPEG 形式の画像ファイルとして保存します。・ファイル保存 (BMP) キャプチャーした画像をビットマップ形式の画像ファイルとして保存します。

お知らせ

- ・画面キャプチャーを許可しない他のソフトウェアが存在する場合、正常に画面をキャプチャーすることができないことがあります。

背景切替の機能

ホワイトボードモード時、背景切替ボタンでスクリーンの背景の色をワンタッチで透明に切り替えることができます。

再度ボタンを押すとホワイトボード背景色のマスター設定で指定した色に戻ります。

【背景切替ボタン】



お知らせ

- ホワイトボード背景色のマスター設定が透明に設定されている場合は、背景色を白に切り替えます。
- 「その他の色／背景選択」からスクリーンの背景を透明以外の色や種類に切り替えることができます。

キーボード操作

キーボードを用いて本ソフトウェアを操作することができます。

キーボード操作	内容
Ctrl + Z	描画などの操作を元に戻します。
Ctrl + Y	戻した操作をもう一度やり直します。
Ctrl + C	選択されているオブジェクトをコピーします。
Ctrl + X	選択されているオブジェクトを切り取ります。
Ctrl + V	コピーされたオブジェクトを貼り付けます。
Delete	選択されたオブジェクトを削除します。
Esc	パワーポイント連携モードを終了します。
→ または ↓	パワーポイント連携モードでスライドのページを送ります。
← または ↑	パワーポイント連携モードでスライドのページに戻ります。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBM は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標または商標です。
- Intel、Intel Core 2 は、米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標または商標です。
- その他の会社名、製品名などの固有名詞は、各会社の商標または登録商標です。

お問い合わせ内容がディスプレイに関するものである場合は、下記パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンターまでご連絡ください。

パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンター

電話 フリー
ダイヤル



0120-872-002

※携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）

URL https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays_support

- * 文書や電話でお答えすることがあります。また、返事を差し上げるのにお時間をいただくことがあります。
- * お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

お問い合わせ内容がプロジェクターに関するものである場合は、下記パナソニック 業務用プロジェクターサポートセンターまでご連絡ください。

パナソニック 業務用プロジェクターサポートセンター

電話 フリー
ダイヤル



0120-872-601

※携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）

URL https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector_support

- * 文書や電話でお答えすることがあります。また、返事を差し上げるのにお時間をいただくことがあります。
- * お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

【当サポートセンターにおけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号